

令和2年度

報

決

告

算

令和2年度の白老町の決算状況について特集してお知らせします。※文中の数値は概数で記載しています。

歳入歳出決算は2億9500万円の黒字

一般会計

一般会計は、道路の整備や教育、ごみ処理などの身近な生活全般の経費を賄っています。

令和2年度の決算は、歳入134億2100万円、歳出130億8800万円となり、ここから令和3年度に繰り越して使用する3800万円を差し引くと2億9500万円の黒字決算となりました。町の貯金である基金残高は前年

度比2億3300万円増の23億5500万円となりました。

表1 町税の内訳

税目	R2年度決算額
個人町民税	5億6,616万円
法人町民税	1億3,807万円
固定資産税	14億5,129万円
軽自動車税	3,781万円
町たばこ税	1億5,542万円
入湯税	1,266万円

歳入

国・道支出金増

皆さんから納められた町税については、表1の通りとなっています。

歳入全体では、前年度比13億6600万円の増収となりました。主な増収要因は、新型コロナウイルス感染症対策特別定額給付金や地方創生臨時交付金などにより国庫支出金が21億2300万円増となっています。

一方、主な減収要因は、白老駅北整備などの事業が前年度で完了したことにより町債収入が1億6200万円の減となったほか、繰越金が1億7100万円の減となっています。

歳出

普通建設事業費

5億2600万円減

歳出全体では、前年比15億600万円の増加となりました。

新型コロナウイルス感染症対策事業として21億5200万円の増やふるさと納税推進PR事業の1億8700万円が主な増加要因

となっています。

一方、減少要因としては、象徴空間周辺整備事業や自由通路を含む白老駅北整備事業の完了などによる普通建設事業費5億2600万円減のほか、公債費が1億2600万円減となっています。

特別・企業会計

特別会計2億3300万円黒字・企業会計は資金不足なし

また、一般会計とは別に、国民健康保険や介護保険などの特別会計、上下水道と病院については公営企業会計を設置して運営しています。特別会計は、一般会計からの繰入金を含め、全体で2億3300万円の黒字となり、6会計すべて黒字もしくは差引収支額はなしとなっています。

一方、企業会計は、積立金、留保資金のほか、一般会計からの繰入金で補てんしたことから、資金不足は発生していません。